

新潟県中越地震。疲労が増す過密な避難所の生活



No.365

編集発行人 中西三洋
治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
〒113-0034 東京都
文京区湯島2-4-4
平和と労働センター・全労連
会館
電話 03(5842)6461
FAX 03(5842)6462
振替 00110 6 97793
定価 50円

憲法は人命と人権の擁護が基本 新潟中越地震被災者に救援の手を

幾たびも襲った暴風・洪水の被害から回復する間もなく、今度は新潟県中越を中心に激震が起こり、家屋倒壊、土砂崩れが断続し、避難した人々は一時十萬五千人を超え、死者三十人を超す大規模な災害となりました。住民のみなさんは、明日をも知れない生命の危険と生活不安におびやかされています。これから迎える寒さと雨、食糧不足、電気・ガス・水道の途絶などを考えると、何よりも人命救助と生活防衛のために、政府が全力を挙げて対策を急ぐよう、私たちは断固として要求しなければなりません。

私たち同盟は、新潟県の同盟のみなさんに連帯し、全民主勢力とともに物心両面からの支援をつよめましょう。(支援先、3ページ参照)

一方、「人道支援」と称して国が自衛隊を派遣してきたイラクでは、ふたたび「人質事件」が起こっています。一刻も早く政府はアメリカの不法なイラク占領に負担する自衛隊の撤退を急ぐこと。そしていま国内で大災害に苦しむ被災者への人道支援こそ、急ぐべきです。

国会でも、政府・与党は年金改悪にもなう消費税増税と改憲策動、国民の命とくらしをかえりみない弱者切り捨て、財界優先政策をこり押ししています。私たちは憲法にもとづく平和、人権、人命尊重の政治を求めて、広く国民とともに運動を強めましょう。

主 な 記 事

十月中央常任理事会開く	2
各地の地方ブロック会議	3
『治安維持法と現代』誌創刊から四年	3
年末を迎え会費を中心とした財政活動	4
顕彰碑/秋田県・畠山松治郎 近江谷友治の碑	4
時の焦点/「大量破壊兵器」の虚構	5
抵抗の群像/高橋とみ子・宮城県	5
同盟歌壇/碓田のぼる選 / 書棚	6

秋田支部、大牟田支部に学び 五〇万署名、会員拡大の飛躍を

十月中央常任理事会

十月五日の中央常任理事会は、

「憲法改悪許すな」の闘いを発展させ、五〇万署名の達成、顕彰活動の前進、一万六千人への会員拡大にむけて同盟活動を力強く前進させる決意を固めました。

一方、体制が機能しない県本部・支部に対し、再建・体制強化が緊急の課題であることも強調されました。

(一)九条改悪許さず、同盟活動の飛躍を

イラク占領米軍のファルージャでの民間人無差別爆撃に対し、反米気運がイラク全土に広がるとともに、迫撃砲弾が打ちこまれる事態の中で、自衛隊は撤退せよの世論も強まりつつあります。

また、沖縄・宜野湾市での米軍大型ヘリの墜落事件に県民は三万人の抗議集会を開きました。

さらに米陸軍第一軍団司令部の座間移転など、日本の基地を司令部とする米侵略体制再編計画、有事法制、自衛隊の海外派兵などへ

の怒りも高まりつつあります。

全国の同盟会員は、「九条の会」発足以来の世論と運動の全国的な広がりの中で、今「九条改悪許すな」「教育基本法改悪反対」の先頭に立って行動をおこしています。

戦前、戦中、小林多喜二など多くの先輩が、虐殺、拷問などの治安維持法弾圧に屈せず侵略戦争と暗黒政治に反対して闘い、世界に誇る憲法の基礎を築いた闘いの原点に立ち、全同盟会員が九条改悪許さぬ闘いと五〇万署名、会員拡大に足を踏み出すことが求められています。

(二)五〇万署名の達成へ
「こんどこそは達成しよう」、と署名活動がすすめられています。

三〇万都市の秋田支部では、六月に開いた支部総会で個人署名一万六千、団体署名五〇〇、会員一六〇名達成を来年一月までと決め、月別目標、幹事会での総括、二ニューズでの全会員への報告をす

すめ十月末で署名一万を突破しています。一〇名の幹事が一五〇名の会員に「不屈」を手配りし、声をかけ励ましているのが原動力。

(三)顕彰活動を強め、先覚者に学ぶ
多喜二生誕一〇〇年を記念する行事が全国各地で盛大に開かれ、山宣・野呂、西田、伊藤、北川ら先覚者の碑前祭も感動を呼び、会員拡大の成果も上っています。年末から来春にむけて、歴史探訪バスツアー、三・一五、四・一六記念集会、犠牲者の記念集会、犠牲者名簿の作成などにとりくむ。

(四)一万六千人会員拡大へ
福岡県の大牟田支部では、この二年間に、二名から五〇名以上の会員の支部へと発展しています。それは、三池争議を闘った伝統に立ち、①支部役員会で対象者をあげ担当をきめ、②役員会で進行状況を討議、③赤旗日刊紙に「入会のおすすめ」を折りこむなどの手だてを尽くしています。また、和歌山県本部は十月を会員拡大月間として奮闘しています。

これらの教訓に学び、当面、年末までの会員拡大目標をすべての地方本部、支部が持ち、これをやりとげましょう。



木車

一九四四年十一月二十四日正午前、私は東京の晴れ渡った秋空の高空を銀色に光る長距離爆撃機B

29の編隊が北に向かっているのを目撃していた。当時国民学校六年生であった私は今でも鮮明に覚えている。編隊はこの後東京郊外の中島飛行機武蔵製作所を爆撃した。日本が七月に失ったマリアナ基地からのB29による東京初空襲である。昼食時に直撃弾を受けた工場内は肉片が飛び散り修羅場と化し、一回の空襲で壊滅した。日本にとって今までの悲惨な戦場はすべて外地であったが、国民は戦場が決して前線だけではないことを思い知らされた。高高度を飛行するB29に対する日本の防空態勢は無力であった。支配層は敗戦必至と認識していたであろう。この時点では東京をはじめ日本の国土はほぼ無傷であった。政府に国民に対する配慮がたとえ少しくても育つたならば、戦争終結を考慮すべきであったが残念なことに当時の政府にそのような発想は微塵もなかった。(倉)

国民的共同の先頭に立とう 各地の地方ブロック会議続く

改憲許さじの誓い新たに

北海道

北海道ブロック会議は十月七、八日、一九三三年虐殺された西田信春の故郷、新十津川町に三十人が集まって開かれました。

七日の全体会では伊藤俊事務局長が報告。①「九条の会」に結集する草の根の取組み、②五〇万署名目標完遂を全同盟員参加で、③北海道における犠牲者名簿作成、④学習活動を旺盛にして一三五〇人会員の早期達成、⑤会費完納と募金で財政活動強化の五点を提起しました。

このあと三つの分科会と女性交流会、夕食時の経験交流があり、それらを踏まえて八日は総括討論。

署名は一人ひとりの目標をはっきりさせ全会員が参加する、協力

新潟県中越地震救援募金送り先

〒951 8124

新潟市医学町通一番六七 八百源ビル3階 治安維持法同盟新潟県本部
郵便振替口座番号〇〇六四〇 五六一九三

者を増やす、多くの団体に訴えるとともに、それらの団体の要求にも協力する、月間・週間などを設定し集中して取組むなどの提起がありました。

会員拡大は、地方議員、若い人への働きかけ、対象者をあげ誰が訴えるか具体的に取組むこと、名簿作成では治安維持法以前の弾圧犠牲者や朝鮮人も含め、広く研究者の協力も得ることなど意欲的な発言が相次ぎました。

「憲法改悪許さじ」の壮大な国民的運動の一翼をしめることを誓いあい、意気上がる感動的な会議となりました。

自主目標の達成へ

北信越

北信越ブロック会議は、富山の福光町で、五県の組織の代表三〇

名参加でひらきました。

同盟中央本部近江谷副会長は「同盟はいまこそ出番の任務を自覚し」「国民的共同の闘いを築こう」とあいさつ。

同盟の基本活動である署名活動は新潟上越支部の会員70%参加の教訓などに討議が集中。支部・全会員の活動参加を。そのため役員幹部が先行・成果をあげよう。憲法改悪反対、年金などの要求と結んで協力・共闘の活動を

毎月、会員を拡大

兵庫県本部 芦田良子

私たち同盟の闘いは、国が犯した過ちを大勢の人達に訴え協力者になっていただくことです。毎月

会員拡大にこだわりはじめて今年で二年三月、正確には〇二年二月五人拡大など、同年九月より〇四年十月まで続いています。三人拡大した月もありました。少し気持ちのがゆるみかけたとき、鹿児島

の故牧内会長から、兵庫版を見て、毎月拡大していくのを感じしている」と電話で激励されました。この言葉は、いまでも忘れず時々思い出しては心の励みにしています。

ひろめよう、と論議を深めました。また、大先輩の「日本の歴史に刻んだ不屈の闘い」を風化させないためには、長野県をはじめ各県の活動は、犠牲者名簿の作成「顕彰行事・記念祭」「歴史探訪ツアー」「顕彰マツプ」など意識的にとりくみ、会員を励まし・力になっていることを確認しあいました。最後に、二〇〇五年度こそ、全国50万筆署名を国会に必ず積み上げよう！と決意しました。

毎月拡大は容易ではありませんが、納得して入会して戴く努力をしています。顔を会わずコーラスでは、七名の同盟員に増え、週二回はかならず会います。

大手の銀行員、憲法前文の歌、人気歌手？ 県職の人、図書館司書、いろいろなジャンルの人たちに、戦争をしない国、核兵器のない世界を子孫に残すため、署名集めに協力して下さる仲間としてさそいました。

これまでに拡大した会員は、四十三人ですが、皆さん現役で時々連絡をとりながら署名の協力やその時々的情勢など話し合うようにしています。

『現代』誌創刊から四年

内容改善と読者拡大が課題

同盟の総合誌『治安維持法と現代』創刊から四年、この秋季号で8号を数えます。

『現代』誌は同盟運動を理論面から支えるとともに、戦前の暗黒政治の実態を風化させない「語り部」の役割を果たすことの二つを柱に編集してきました。

この間、その時々々の政治問題について専門家の方々に執筆をお願いし、また同盟員の発言や研究も多く掲載してきました。

7号では「九条の会」呼びかけ人の一人でもある奥平康弘氏の憲法論をはじめ、国民保護法制、教育基本法と「つくる会」策動批判、その他の論考を掲載。8号では「大政党制問題」、「日の丸・君が代」強制、憲法改悪の危険と日本の軍事力強化に警鐘を鳴らす貴重な論文を寄稿していただきました。また暗黒政治下でたたかった先達の業績に光りをあてた諸考察も収録しました。これらの同盟運動への共感とご支援に紙上を借りてお礼申しあげる次第です。

同盟員の必読文献に

『現代』誌をテキストにした学習会、論読会なども広がっています。「この雑誌は第一級の知識人、活動家が筆をとつており得難い文献です。学習テキストトとして活かしていきたい」(東北ブロック会議参加者の感想)という嬉しい反応も。



同時に改善点についての厳しい指摘にも目を向けなければなりません。「全体として固い」、「学術雑誌のよう」、「もっと読ませる魅力ある編集を」などの注文も寄せられています。

固定読者の広がりなど購読者が定着してきた反面、部数の伸び悩みから赤字を脱出できずにいる現

状も頭の痛いところでは、執筆活動部・支部への還元金を増やす努力も求められます。そのために同盟員の二割程度への普及を願っている状態です。本誌の普及に努力されている各県本 (編集委員 佐藤記)

年末を迎え、会費を中心とした財政活動の強化を訴えます

今年の同盟活動は、同盟内外とも、多面的な活動を発展させたため、中央本部の財政は、昨年を引き続いて、五百万円を超える赤字財政となりました。都道府県本部の財政も年末を越すのに大変です。

この赤字を克服し、年末財政活動を強化するためには、第一に、同盟財政の根幹である会費の一〇〇%納入をきちんとすることです。そのためには、①すべての同盟員を支部・班に組織することです。

②機関紙「不屈」をつかって、会員一人、ひとりの心の結びつきを強めることが大切です。第二に都道府県本部の会員拡

大目標(拡大目標一万六千名)を達成することが大事です。福岡の大牟田支部が四十七名の会員を拡大し、五〇名の支部を組織するなどのすぐれた教訓から学ぶことが大切です。また賛助会員をひろげ、会費を積極的に集めましょう。

第三に、年末カンパ(中央納入同盟員一人当り、三三〇円)を同盟内外にひろげることによって目標を達成し、中央納入を確保しましょう。第四に、新年名刺広告(一枠五千円、中央納入一枠三千円)を超過達成し、代金を一〇〇%回収しましょう。

顕彰碑

秋田県八郎潟町

「農民の父と母」と刻まれている

島山松治郎・近江谷友治の碑



島山松治郎と近江谷友治は従弟の間柄で、一九二二年二月に創刊された『種蒔く人』の同人であった。二人は上京し、暁星中学で学び、学生のときに社会主義の洗礼をうける。

帰郷後、土崎港町(現秋田市)で「秋田労農社」を結成、「友治は労働運動を、松治郎は農民運動を」と決意を固め合った。松治郎は共産党機関紙「農民運動」の販売普及責任者となり、農民組合の組織化にとりくみ、日農秋田県連合会執行委員長となる。普選法による初の衆院選で労働農民党から立候補して闘うが、天

皇制政府による労働党解散後、「新党準備会」と「無産大衆党」へと分裂するなかで農民運動から離脱し、以後、医療組合の活動に専念。終戦の年、51歳で死去している。友治は、労働党秋田県連を結成し、執行委員長に選出され、秋田県における労働運動の最高指導者となる。しかし松治郎が農民運動から離脱後、その後を引き継いで農民運動に移らざるを得なくされた友治は、主として南秋田郡一帯の小作争議を指導して闘うが、人民戦線事件で検挙され懲役二年の実刑となる。転向を拒否して闘うが、虐待を受け重体となり、病院に入るが、時すでに遅く不帰の客となった。44歳であった。

松治郎・友治は「第一次日本共産党の頃のかくれ黨員」であったと語られているが、明確な記録は残っていない。(〇)

時の焦点

大量破壊兵器なしとの報告出づる日も子らの悲鳴と転がる亡骸 (十月二十六日「赤旗」入選歌) 東京都 藤本次郎

「フセインがかくし持っている大量破壊兵器を摘発する」。二〇〇三年三月ブッシュがバグダッドを爆撃、イラクに侵攻した大義名分。

「大量破壊兵器」の虚構

当時国連査察団のブリック入団長が「これまで大量破壊兵器は見つかっていない。もう数カ月で調査は完了するのにと、ブッシュの戦争強行をきびしく批判しました。大量破壊兵器」の危険の強調は戦争強行の口実に過ぎず、のつけから「大義なき戦争」は国際的社会通念でありました。いまやイラク戦争は泥沼化。イラク全土に反米感情は広まっているといわれます。大量破壊兵器の虚構が明かにな

るにつれ、スペイン、フィリピンなど約十カ国が撤兵を表明、アメリカがつくり上げた有志連合が音を立てて崩れはじめています。一片の反省もなく、開き直っているのが日本の自公政権。ブッシュに隷従して小泉首相がイラクは必ず大量破壊兵器をかくし持っているとの決めつけ、あの「フセインがみつからない」といつて、フセインはいないといえますか」と、的はずれで次元の低い詭弁を弄してイラク派兵を正当化しました。冒頭の歌の事態がつづくなら、いつの日かブッシュの戦争犯罪とともに、共犯者として小泉首相も世界の平和と民族自決の名によってきびしく追及されることでしょう。大量破壊兵器。NBC兵器ともいわれ、核兵器、生物兵器、化学兵器の総称です。本来は「大量殺傷・破壊兵器」と呼ぶべきで、人類絶滅・地球環境破壊兵器。とかくイラクやイランや北朝鮮が標的とされていますが、最大の大量破壊兵器の保有国で先制使用を企図しているのはアメリカ。一日も早く核兵器はじめ全廃のための国際条約締結が切望されます。(元)

抵抗の群像



嵐の時代を駆けぬけた一輪の花

没後七〇年の

高橋とみ子

同盟宮城県本部 根本京子

一九三四年(昭和九年)九月、大川芳夫氏(現同盟県本部会長)ら五九名が逮捕された「九・一一事件」と呼ばれる大弾圧が宮城県の民主勢力を襲いました。

その一人であった高橋とみ子さんは一〇月二〇日仙台市の自宅で逮捕され、その後東北の中新田警察署に送られ、一カ月後の十一月二一日遺体となって家族の元に帰されました。「自殺」と発表されましたが、全身紫色に腫れ上がった無残な亡きがらでした。

中新田町の佐藤庄七さんが、戦前警察の嘱託医をしていた鈴木侃氏から聞いた話として、「昭和九年の秋、中新田署から呼び出しがあり、留置人が自殺したので検視してくれとの事だった。だが自殺したような所見もなく、全身紫色に腫れていて、殺されたのだなと直感した。しかし有無を言わせぬ

当局の態度にやむなく自殺と判定した。真実を主張する勇気が無かった」と手紙を寄せています。

高橋とみ子さんは一九〇九年(明治四二年)一月二五日仙台市に生まれ、第二高等女学校を卒業した後、尚絅女学院専攻科に学びました。その三年前には伊藤千代子も同校に入学しております。その後とみ子さんが運動に参加するようになったのは、画家で治安維持法で逮捕されたこともある次兄の辰雄さんの影響と言われます

が、プロレタリア美術家同盟、工スベラント協会、また共産青年同盟にも加盟していたようです。生け花、刺繍などが得意で、母親と早く死別したため小まめに家事もこなし、周りの人にも気を配る心暖かい人でした。ルージュ色の頬をしていたことから、ルーちゃんと呼ばれていました。仙台市の片

倉製糸、旭紡績の女工さんたちに洋裁などを教えながら全協(日本労働組合全国協議会)仙台支部結成準備に向け活動していたと思われまます。

一緒に活動し、自らも逮捕と拷問に耐え抜いた山本すぎさんは「昭和七年の頃、丸い膝をならべ、頭を寄せあつて、出来るだけ短い言葉を交わし、風のように早く別れた若い私たちは、労働運動の前線にあることを意識して、緊張と恐怖で身ふるいするような思いで行動したものでした」と当時の活動の様子を記し、また「とみ子さんは大事そうな箱から緋ちりめん

に金糸で刺繍したレーニンの横顔を出して見せてくれました。昭和九年の夏、旭紡績で働いていた私に便箋や封筒、お金などを持ってきて「みんなが心配しているから体に気をつけてね」と言つて帰りました。木綿の単衣にメリンスの半巾帯をしめた後姿、これが最後

でした。「みんなが心配しているから」この言葉が今も私を泣かせます。

とみ子さんと同じ日に捕らえられた阿部和子さんは、取調室で、「言もしゃべらぬ強情な女がいる。だから……」と、とみ子さんへの

拷問の様子を聞かされました。「国賊は殺してもかまわない」とうそづく特高警察。それに保証書を与えたのが治安維持法です。小林多喜二の最期と重なります。

当時の日本は、一九三一年「満州事変」を引き起こして泥沼の五年戦争に突入しました。国民を戦争に駆り立てる国家総動員体制を確立するため、あらゆる分野に息つく暇もない弾圧を加え、転向を迫り、ほぼその目的を達したのが一九三四年の大弾圧であったと思えます。

九・一一事件の記事が解禁されると、各新聞は「宮城県特高課の努力と功績はわが国共産党検挙史上輝かしき一頁をかざるもの」とこぞつてこの弾圧を称賛しました。

今年、高橋とみ子さんの没後七〇年。

この一月二〇日、追悼の集いが開かれますが、一瞬の光を放つて嵐の時代を駆けぬけた二五歳の若き命の輝きに、魂が揺さぶられる思いがします。時を越えて思いを新たにし、再び戦争と暗黒政治を許さないための教訓と決意にしたいと思えます。

同盟歌壇

碓田のぼる選

千葉県 高沢 義人
二七年テーゼ死守せし渡政の闘いありて八二年党史きらめく

評 「渡政」と愛称された渡辺政之輔は、二七年テーゼ作成に片山潜とともに重要な役割を果し、一九二八年台湾で死んだ。

東京都 若林 義文
度し難し右傾化つよむ改造の新内閣に支持率の増す

評 最近の社会状況に作者は憤懣(ふんまん)やるかたもない。国民を苦しめる小泉内閣の政治に怒りを燃やせと訴えている。

京都府 須田 稔
九条とは何のことかと問い来たる和服の女性あり百貨店の前

評 原作の最後に「うれし」があつたが、とつても、作者の気持は伝わってくる。まだまだ九条のことは知られていないのだと。

千葉県 行木 権平
十月のややに涼しき夜の間に白、しろ、白と浮かぶ夕顔

評 闇に夕顔の花が浮かぶ様子は、いかにも幻想的である。しかし四句の白のくり返しは、逆に輪郭を強める感でそぐわず。

東京都 山崎 元
瓦礫の底から耳朶打ちくるは怨念かブツシユの戦犯きつと裁けと

評 たとえばイラクなどでの、アメリカ軍による一般市民への無差別的な攻撃を思い浮かべれば、作品の訴えは理解されよう。

静岡県 江川 佐一
党とともに行商もし生き来し君はいま管につながれすべなく生きる

評 かつて苦難の中を生き抜いて来た人が、今、救命装置につながれて生きていることに、作者はかなしみをこらえている。



『小林多喜二とその時代』

「極める眼」

浜林正夫著

東銀座出版社刊 (二、〇〇〇円)

小林多喜二の生誕百年・没後七

第一部 新しい出発

十年の記念・顕彰の行事に精力的な活動を続けられた浜林正夫さん

第二部 プロレタリア作家同盟

が、多喜二とその文学についてのユニークな論考をまとめられました

終章 悠々と流れる大河のような作品を

た。「これまでまったくなかった角度から多喜二を見直してみよう」というこころみ(はじめに)です。

「蟹工船」一九二八年三月十五日「不在地主」党生活者」などの諸作品についても、それぞれに多喜二の、芸術と社会科学を統一する課題意識と苦心、読者である大衆への配慮がこめられていることを教えられます。終章での、多喜二が深刻な自己批判の中で生み出した「悠々と流れる大河のような作品を」との雄大な抱負が、ついに果たせなかったというくだりは、いま多喜二を学ぶ者に深い共感と感動を与えずにはおきません。井本三夫さん、藤田廣登さんの補論も大変貴重なもので、多喜二へのアプローチの意欲をかき立てられます。

まず目次を見て

- 第一章 革命と芸術
 - 第一節 マルクスへの道
 - 第二節 作家への道
- 第二章 二重人格のような
- 第三章 断じてマルキシズムに
 - 第一節 文壇へのデビュー
 - 第二節 「社会のえぐり出し」
- 補論 多喜二と野呂栄太郎
- 第四章 プロレタリア作家同盟

(異)

「九条の会」アピールに呼応

都本部女性部「平和はがき」運動

東京都本部女性部が「平和絵はがき」を作成。絵はがきは絵でがみ風のカラー二枚組みで、一枚はユリの花の絵に「憲法9条は平和の証」、もう一枚はひまわりの絵に「世界の子どもたちへ平和の光を」の文字が描かれています。いずれも板橋の金子廣子さんの力作です。

表面下には「ふたたび戦争と暗黒政治を許さない 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟」と印刷してあります。

署名とも結合

いま自・公・民三党によって憲法改悪が目論まれているなか、全国に広がっている「9条の会」と連動し、まさに同盟のアピールの場として、同盟署名・会員拡大と



を結びつけて大きく普及したいと張り切っています。全国の同盟の注文にもこたえます。

普及価格 二枚組みで二〇〇円
 取扱い 十組以上送料都本部負担
 注文先 同盟都本部女性部
 千代田区神田神保町
 一 一四古内ビル二F
 ☎〇三 三三九一 六〇七〇

事務局日誌

- 10月4日 同盟中央三役会議
 - 10月5日 同盟中央常任理事会
 - 10月14日 「不屈」十一月号編集会議
 - 10月16日 日朝協会主催、東北アジアの平和と六者協議講演会に参加
 - 10月22日 東京都本部理事会に参加
 - 10月23日 国民投票法案シンポジウム(五・三実委)に参加
 - 10月29日 「不屈」十一月号編集わりつけ会議
- 〈寄贈された図書〉
 相原ゆう詩・歌集
 「桜の花」

頒価一五〇〇円

●治安維持法と現代を結ぶ同盟の総合誌

『治安維持法と現代』 2004年秋季号 好評発売中

【主な目次】二大政党制と政治革新(畑田重夫)、「日の丸・君が代」強制はなにをもたらすか(葦沢忠雄)、9条改悪阻止で国民の過半数獲得を(渡辺治)、有事法制と戦時体制づくり(山田朗) 以上の各氏が論考。いわさきちひろ・勝目テルさんの思い出、劉連合仁記念碑除幕式参加記、第8回国連要請行動報告、元博物館館長にアウシュビッツでの抵抗闘争を聞く、話題を読む・農民運動の系譜・文芸・その他多彩に収録。A5版・152頁、定価1000円、送料240円、各県本部でお求めください。企画・編集 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟

